

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	少子化対策監室
職	子育て支援課長
氏名	畦内 一夫

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
心身ともに健やかな子どもの育成と安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進する。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか
① 保育所を地域の子育て拠点施設として位置づけることにより、育児不安の解消等を進める。 ② 児童や家庭を取り巻く環境から誘発される各種問題(虐待等)に対応するため、相談機能や地域連携を強化する。 ③ ひとり親家庭の児童学力向上を図る。 ④ 妊娠中から出産・育児に至るまで一貫した母子保健・医療体制を充実する。 ⑤ 食育を通して子どもの健全育成を進める。	

(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①子育て支援コーディネーター(※1)の配置率	98.3 %	H29 年度	100.0%	H31 年度	いしかわ創生総合戦略
②児童虐待相談対応件数	867 件	H29 年度	虐待の防止		いしかわ子ども総合条例
③母子家庭における常用雇用者の割合	56.6 %	H29 年度	60.0%	H29 年	いしかわエンゼルプラン2015
④周産期死亡率	3.7(出産千対)	H29 年度	全国平均以下	H31 年	全国平均以下を目指す。
⑤地域版食育推進計画認定数	109 計画	H29 年度	105計画	H31 年	いしかわエンゼルプラン2015



30年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①マイ保育園登録制度(※2)の普及と機能強化	マイ保育園登録制度の各市町における普及と、在宅保育児童に対する発育支援などの機能を強化する。
②要保護児童対策のためのネットワークの推進	虐待の早期発見・対応等の指針を策定し、関係機関のネットワークにより、適切な保護・支援体制の充実を図る。
③ボランティアを活用した学習支援	自宅や地域の施設(学習の場)に大学生等の学習支援ボランティアを派遣し、ひとり親家庭の児童の学習を支援・進学相談等を受ける。
④母子の保健・医療サービスの質の向上	不妊や妊娠に悩む方への支援や関係機関との連携などにより、母子保健・医療サービスの質の向上を図る。
⑤第3次いしかわ食育推進計画	地域版食育推進計画策定の促進を図るなど、地域や家庭における食育の推進に努める。

※1 子育て支援コーディネーター……………保育所の主任クラスの保育士等が、在宅で子育てをしている3歳未満児のいる家庭に対し、各種の子育て支援サービスを総合的にコーディネートする
 ※2 マイ保育園登録制度……………親の働き方に関わらず、すべての子育て家庭に対し妊娠期から3歳未満まで保育所等が拠点となって支援を行う制度